

平成26年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京大学	主たる交流先の 相手国	インド
構 想 名	日印産官学連携による技術開発と社会実装を担う人材育成プログラム		

〔評価コメント〕

本構想は、工学系の複数分野において各々インド工科大学各校等を交流先とし、日印の産官学の連携によってグローバル化社会で活躍しうる人材の育成を目的としたプログラムであり、インドをはじめ重要性を増しつつあるアジア等新興地域を視野に含めた技術開発や工学系研究教育の国際化を図ろうとする意欲的な取組である。その展開に当たっては、既にインド事務所を設置するなど大学全体として連携基盤整備が着手されていることに加え、分野別に蓄積してきたインド工科大学各校等との協力関係に基づく着実かつ包括的な計画となっており、高く評価できる。

日印の学生・研究者の交流については、これまでの実績をもとに、派遣・受入双方において基本的な支援体制が整備されており、計画の円滑な遂行が期待できる。また、鉄道分野で産官学の取組が開始されているなど、日印の長期にわたる安定的技術開発・技術協力という観点からも成果が期待できる。日印それぞれの技術教育におけるニーズに応える計画であり、特に日本人学生・研究者にとっては技術の社会実装力の涵養という面で成果を上げることが期待される。

一方で、日本人学生の派遣については、比較的短期のプログラム（サマースクール等）から長期のプログラムへの展開が課題となるため、単位互換等の制度面の整備とともに、個々の学生の教育プロセスと将来のキャリア形成を十分に考慮した連携のあり方を検討することが望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日印関係を見据え、インドとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。